

岡山三水系の流域治水プロジェクト(案)が承認されました！

- 令和3年3月18日に開催した、吉井川、旭川、高梁川水系の大規模氾濫減災対策協議会において、各水系の流域治水プロジェクト(案)について審議・承認していただきました。
- 今後、流域治水プロジェクトに基づき、国、県、市町村、企業、住民など、流域内のあらゆる関係者と協働し、地域の安全度を向上させるべく、対策を進めてまいります。

■吉井川、旭川、高梁川水系大規模氾濫減災対策協議会 開催概要

日 時: 令和3年3月18日(木)
 場 所: 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所(WEB開催)
 議 事: (1)流域治水プロジェクト(案)について
 (2)その他



開催状況(本会場)



WEB参加の状況(高梁川水系協議会)



■岡山河川事務所 横林所長挨拶

平成30年7月豪雨をはじめ、毎年激甚な水害が発生しており、流域治水の議論に着手したところ。プロジェクト案についてご審議いただきたい。

■岡山県 原田土木部長挨拶

流域治水は非常に重要な取組。今後、様々な関係機関が連携を密にしながら防災・減災対策を進めていく必要がある。



■首長からの主な意見

【倉敷市・伊東市長】

- 平成23年台風を契機に、大雨が予想されるときに用水路の水位を事前に下げる取組を強化。総延長2,200kmの用水路をかかえる市ならではの取組。
- 市営駐車場などで透水性の舗装を採用しており、雨の流出抑制対策を進めているところ。

【総社市・片岡市長】

- 気候変動によって気候は変わり、流量も増加する。災害は生き物であり柔軟に対応していく必要がある。みんなで力を合わせる事が重要。

【高梁市・近藤市長】

- 災害を完全に防ぐことはできないため、減災という考え方が重要。流域治水プロジェクトに期待しており、一日も早く取組を実現させたい。市としてもしっかり役割を担っていく。

【新見市・戎市長】

- 令和元年9月集中豪雨災害による被害を受け、都市計画区域のコンパクトなまちづくりを推進するため、浸水リスクを考慮し、被害を軽減させる対策を盛り込んだ立地適正化計画を策定する。

【早島町・中川町長】

- 想定最大規模の浸水想定区域も掲載したハザードマップの作成を行っており、令和3年出水期までに配布する予定。小学生を対象とした防災教育も進めている。

【矢掛町・山野町長】

- 小田川付替え事業が一番効果のある事業であり期待している。
- 自主防災組織を100%にして、マイ・タイムラインも推進したい。

【構成機関】

3水系全体で41機関

※協議会及び流域治水部会の構成員・オブザーバー

